

安心をベースに、心ゆたかな高年生活

藤井寺  
フィレンツェライフ青山

Firenze Life Aoyama

2013年  
第4号

20周年特集号  
The 20th Anniversary Special Issue

# フィレンツェ便り 百合通信

ゆりつうしん



## ～ 20周年を迎え関係頂いたみなさまへ～

これまでのフィレンツェライフ青山を支えて下さったご入居者様・ご家族様、青山病院の先生方、歴代経営陣の皆様方に報恩感謝申し上げます。20年の歴史に恥じぬ様スタッフ一同精進して参ります。

安心をベースに、心ゆたかな高年生活

藤井寺  
フィレンツェライフ青山

Firenze Life Aoyama

## 20年の感謝の 気持ちを込めて

おかげ様で、「フィレンツェライフ青山」は平成5年2月1日に開設されて20周年を迎えました。お客様・地域の皆様と共に歴史を重ねてまいりました20年、これからも「心を込めたおもてなし」を信条にスタッフ一同決意を新たにしております。

今回は20周年を記念して今までを振り返る内容も含んだ百合通信をお楽しみ下さい。

### 目次

施設長あいさつ	2
俳句作品紹介	3
インタビュー	4
ひとことコメント	8
レクリエーション紹介	10
クラブ活動報告	13
特集・フィレンツェライフ対談	14
ドクター紹介	17
スタッフコラム	18
営繕作業報告・編集後記	19



## 二十一年を経て

皆様には、お健やかに日々の生活をお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。

お陰様で、フィレンツェライフ青山は、本年2月で開設20周年を迎えさせて頂きました。ご見学のお客様より20年も経ったとは思えない建物ですねとお声を頂戴致しますが、これは、当施設創始者が40代にルネッサンス発祥の地であるイタリアのフィレンツェに思いを馳せ「自分が将来入居したいホーム作りを・・・」と言うシンプルな志しが20年経ても人々にさりげない存在感を感じさせる淵源ではないかと感じています。

現在、入居時60歳の方が80歳を迎え平均年齢は85歳に達しております。

日本では、人生80年代と言われるようになり久しいですが、フィレンツェライフ青山では人生90年代と感ずる程にそれぞれの皆様がその方らしくお暮らしです。

作家の曾野綾子氏は「老いの才覚」と言う著書の中で老化度をはかる目安として「してくれない」を連発する頻度を《くれない指数》と呼び高齢になっても自立・自律を生きる旨とし「人に何をやってもらうか」ではなく「何ができるか」などの7つの力を才覚とし、上手に年を重ねることは才覚だと主張します。老いる才覚とは苦しみから得る知恵であると・・・。

私達は、日々ご入居者様から生きる知恵を学んでいます。お幾つになられても「心」の働きは生き生きとされ、心に向かって語りかけると必ず伝わることも経験の中で学ばせて頂きました。尊敬する皆様方と共に今後もフィレンツェライフ青山の歴史を綴ってまいります。心新たに決意しております。



施設長  
尾谷 弘美

## 俳句会

(第百六十五回)

## 初秋

日常のささやかな出来事を句にして毎月掲示しています。  
投稿頂いた句の一部をご紹介します。

■ モナリザの微笑み謎や秋深し

■ 老いし夫敬老の日の高いびき

■ 初読書 幼娘に薦めし野菊の墓

■ 遠きむかし亡母と見し月独り見る

■ 新涼や曾孫の頬っぺの柔らかく

■ 梨むけば故郷の甘さ滴りて

■ 名月を異境に郷愁 浸りをり

■ 咲き初めし 白萩を供花 名月に

■ 花を友花と遊びし 我が世哉

## 俳句の会へのお誘い

俳句を通して新しく発見に満ちた時間を過ごしませんか？俳句の楽しさ、素晴らしさは季語との出会いです。見たまま、感じたまま文字にしてみてください。ご興味のある方、初心者の方ももちろん、是非投句の方お待ちしております。

# インタビュー

## 20周年記念インタビュー

フィレンツェライフ青山



T:今日はフィレンツェライフ青山に一番長くお住まいのMさんに、フィレンツェの20年についてお話をいただこうとお時間いただきました。

Mさん:え?私が一番古いの?

T:そうなんです、今ここで入居いただいている方の中では一番長くお住まいいただいているんですよ。ご入居されたのが平成6年の9月でしたね。

Mさん:ということは、もう20年経つわけですね。

それを全部お話ししたら一晩も二晩もかかりますね。実は、フィレンツェにはまだ建てている時に見に来たんですよ。両親とも亡くなって、結婚もしなかったので一人でしよう、いろいろ情報を集めていたら老人ホームに入るのが一番よからうと思いましたが、

新聞や本を読んだりしながらあちこちみて回ったんです。やっぱり自分の目で見て決めたいし、もし失敗しても、自分の意思で決めたことなら悔いはないでしょう。ここは田舎だけど便利。若かったからまだまだあちこち飛び回りたいって気持ちもあったので、不便だと困るのよね。

T:便利で自然もいっぱい場所ですものね。

Mさん:金剛方面の山があるでしょう、あれ全部歩いて回ったんですよ。この辺りは田園もあり、古墳もあ



広々としたロビーで寛がるM様



り、倭建命のお墓まであるしね。どこに出かけるにも非常に便利なところっていうのが今思えばよかったなあと思いますね。それから玄関正面にフィレンツェの絵があるでしょう?あれをすごく気に入ったっていうのもあるんですよ。

T:オープンして初期のころと今の違いは感じられますか?

Mさん:今は「老人を守る」という大前提がきっちり

出来上がってる印象ですね。入居者も皆年を取ったし、スタッフさんも増えたし、きちっと教育されているスタッフがそれぞれの分野できっちりの仕事を分担している感じ。その中でも介護のスタッフさんたち、あの方たちは素晴らしい。ここは声を大にして宣伝したいですね。

T:Mさんにそう言って頂けると、とてもうれ

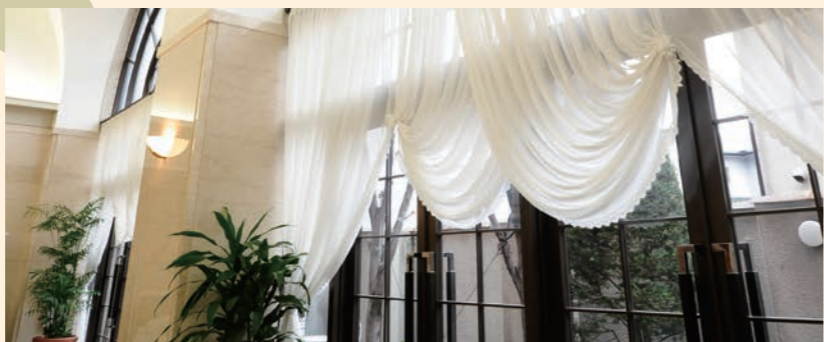


玄関正面にあるフィレンツェの絵

しいです。

Mさん:私の体験談なんですけど、自分の不注意でしりもちをついて、お尻の骨にひびが入ってしまったってね、足が立たなくなりました。達者だと思っていた自分の体と言うことを効かなくなりました。上に、トイレさえ自分で行けなくなりました。トイレさよ自分で行けなくなりました。ある晩、枕元にあるコイルをビーツと押したらスタッフさんが飛んできてくれて、その子の首にしがみついて部屋に設置してもらったポータブルトイレを使おうとしたんですが、その時には間に合わなくて、床を汚してしまったの。私、半分ふて腐れてしまった。片付けてくれるスタッフさんを見ながら「もう私あかん」って思ってしまったんです。親にもしてもらったことないような世話かけてしまった上に、足は立たないし、トイレも満足にできないし。

T:ものすごく落ち込んでおられましたね。あの時は。



Mさん..ほとんどですよ。ここに入ったときはそこまでわからなかったけど、愛情がいっぱい。ここなら家族も

T..そう思っていただけなんですね。  
Mさん..ほんとは、ほんとありがたいです。私だけじゃなくて、他の人のこともそうやって大事にしてきてくれることがよくわかります。愛情を込めて見守ってくれている、ここは愛の巣ですね。



T..お食事も最初は召し上がれませんでしたもんね。そこから

Mさん..心配しなくて大丈夫。死ぬのは寿命、それまではここで楽しんでいきたいです。

T..ありがとうございます。

Mさん..自慢になるようなことじゃないけど尻餅ついて体験したこと、あの至れりつくせりの対応は一生忘れないということを皆さんにお伝えしたいですね。ここに居たら安心、家族にも安心してもらえ場所だということ

T..ほんとうにありがとうございます。他のご家族の方にも安心感が伝われば嬉しいです。これからもフィレンツェライフ 青山への信頼を大切に日々努力してまいります。今回は貴重な経験をお話いただき、本当にありがとうございます。

Mさん..こちらこそ、これからもよろしくお願ひしますね。



Mさん..もうあの時はね、何もできなくて、希望も持てなくて、ご飯もおいしくないし、食べられへんし、おむつ生活でこのまま寝たきりでもう葬式かと思ってたの。すつかりふて腐れてヤケになってたんですけどね。そんな日が続いたある晩、トイレの後始末を「大丈夫ですよ」と笑顔でしてくれるヘルパーさん見てたら、急に「あかん！」って思ったんです、滝に打たれたみたいに心入れ替える気持ちになったというか、こんなに皆が支えてくれるのに、私がかんばらないでどうする！って。私にはやることがあるって思ったんです。

T..お食事も最初は召し上がれませんでしたもんね。そ

Mさん..頑張っているからね、皆さんに助けてもらってたんですよ。怪我してから三週間たってお医者さんに看てもらったら、先生びっくりしてはったんです。三週間で歩けるなんて奇跡だって。それで杖をついて一階に降りて行ったら、久しぶりに歩いている私を見たフロントのスタッフさん達が一齐に「Mさんが復活した！」って言うてくれたんです。あれは今も耳に残ってます。嬉しくて外の空気を吸おうと思つて外に出たら、皆に脱走した！って騒がれて(笑)

T..そうそう。突然お一人で外に出られるんですもん。何かあったら大変ですよ。

Mさん..外に出たかったのよ、外の空気を吸いたかったの。一人でこっそり出て、門の手前で追いつかれて「脱走」って(笑)、あれは愛情の一言だと思ってます。笑いぐさにもなってますけど。両腕抱えて連れてかえってくれた時は涙が出るほどありがたかったですよ。だって今時、あそこまで誰

# フィレンツェライフ青山の歩み

## ひとことコメント

フィレンツェライフ青山の御入居者様  
からコメントを頂きました！



【T・M様】  
入居7年目

入居の時は、住環境が変わって慣れるまで時間がかかりました。他の人からもホームに問題があるとは聞かないし、スタッフさん達もよくやって来ています。今は元気に歩いていますが、私らもいづれ一人になったら淋しいだろうから、その時にはロビーでよく見かけるように、コンシェルジュさんが話を色々聞いてくれるのかな？

【T・S様】  
入居7年目

以前骨折した時に一時介護居室に入ったことがあるのだけど、スタッフさんの温かい気遣いが嬉しかったですよ。入退院や体調悪い時には、本当に安心出来ますね。  
あれから転ばないように、気をつけています。



【K・H様】  
入居5年目

家内が亡くなった後、2年間立ち直れなくてね。でも自分で乗り越えなければと気がついて、前向きに楽しもうと思えるようになった。この暮らしには、本当に満足している。何も言うことなしだよ。スタッフのことは家族のように思っているからね。  
これからも色々なことにチャレンジしたい。スーパーおじいちゃんになるぞ！



【O・T様】  
入居19年目

先日ホームに泊まりに来た身内から「フロントに入った時の空気が素晴らしい、皆さんから事務的でない心からのご挨拶をもらえて、本当に寛げた。来て良かった！」と何度もお礼の電話があつてね。僕も嬉しかった。  
18年間のこの暮らしには、何も言うことが無いくらい満足しているよ。入居者の変化を、スタッフがちゃんと理解して対応しているね。素晴らしい！



【A・Y様】  
入居6年目

家内が認知症になって、息子がここを探してくれましたよ。息子達が頻りに来てくれるから嬉しいね。家内をここで介護して看取ったんだが、スタッフさん達がいてくれたので心強かったよ。  
もうすぐ遠足だな。楽しみだ！スタッフとのコミュニケーションも、楽しいよ。



【K・F様】  
入居15年目

建物がキレイだから20年経ったように見えないね。  
レクレーションには一番に飛んで行つてのよ。楽しいものねえ。



【H・M様】  
入居5年目

先月から腰痛を患い、皆さんに色々迷惑をかけたわね。  
家で一人きりでいらつて思うと、ゾツとするわ。今度のことで、ここに来て良かったと改めて実感しているのよ。本当に感謝しています！



【O・H様】  
入居8年目

フィレンツェが創立した時、玄関にある規定は私が書いたものよ。あれから20年もたつて、時間がたつのは早いね。書道と歌声サロンには、毎回参加しています。昔懐かしい曲を聞いてると、若い頃を思い出して心も弾むわ。



【H・M様】  
入居13年目

ここにきて14年になるかなあ。麻雀クラブと隣に病院があるんでここを選んだが、正解！私については男だな。  
入居した頃は病院通いが多かったが、93歳の今の方が元気かな。最強の運の持ち主だな。ありがとう！



【M・F様】  
入居16年目

家にひとりで暮らしていた頃は、淋しくてしんどかったのよ。ここでは3Fの談話室に行く、誰かいるし何かしらレクレーションなどをやっているから淋しくないわ。安心できる。毎日が楽しいですよ。

## お誕生日会



3ヶ月に1度、お誕生日会を開催。毎回様々なイベントを企画して、大切な記念日をお祝い致しました。

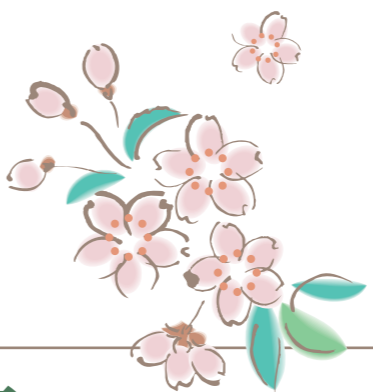
春、夏、秋と年3回、屋上の花壇に季節のお花を植栽致しました。皆様のご協力のお陰で、季節ごとの花で溢れる癒しの空間ができました。



## 屋上 ガーデニング

## お花見 車窓見学

4月11日  
藤井寺浄水道（大井水みらいセンター）や四天王寺国際仏教大学の桜見物に出掛けました。満開の桜並木に笑顔もほころびました。



4月27日  
オープンしたての国内最大級の水族館へ出掛けてまいりました。お昼はリーガロイヤルホテル京都で優雅なランチ、その後「東寺」に立ち寄りました。日本一高い木造建「東寺「五重塔」」は高さが55メートルもある、世界文化遺産です。何度見ても格式の高い塔で素晴らしいかったです。



## 京都水族館 春のバスツアー

## 岸和田

### 春のバスツアー

5月8日  
連続テレビ小説（カーネーション）のロケ地巡りに出掛けました。だんじり会館や岸和田城、寺田財閥の回遊式日本庭園「五風荘」にて懐石料理を堪能しました。



## 万博公園 春のバスツアー

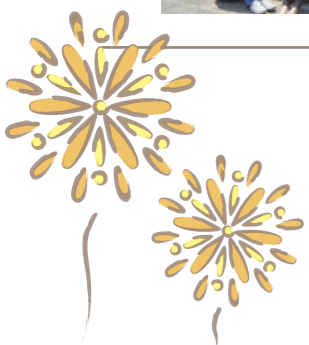
5月28日  
新緑とバラ園に囲まれた自然公園にて散策をしてまいりました。千里阪急ホテルではバイキング料理を楽しみました。



## PL花火 鑑賞会



8月1日  
当ホーム屋上にてPLの花火鑑賞会を行いました。特等席からの鑑賞です。



9月15日  
ピアノ・バイオリン・チェロ・ビオラの奏者をお招きしました。迫力のある素晴らしい生演奏にうっとりとした酔いしれる思いでした♪  
祝賀会にふさわしい音楽鑑賞となりました。



## 敬老祝賀会 ロビーコンサート アンサンブルフロール

## 秋の収穫祭 芋ほり



10月8日  
屋上にて5月に植えた苗を掘り起こすと大きくなって立派な鳴門金時に育っていました。ふかふかほっこりした美味しい、黄金色のおやつが出来ました。



# クラブ活動報告

## 新しいレクリエーション活動

### 歌声広場

ナイス藤井寺バンド、ファイレンツェバンドの共同での演奏会です。昔、懐かしい曲を歌うと心も体も弾みます。



### お話の会

絵本の読み語りや手・指の体操を行います。キャンドルのともる空間の中で、物語は始まり、たちまち物語の世界へ引き込まれます。



### ビリヤードクラブ

男女問わず、経験者も初心者も皆様楽しいひと時をお過ごしです。普段でも、ロビーのビリヤードを楽しまれる方が増えました。



## その他のレクリエーション活動

- 楽華の会
- カラオケ
- きめこみパッチワーク
- 書道の会
- 映画会
- ビリヤード
- 絵手紙
- 俳句
- 社交ダンス
- お手玉
- 歌声サロン
- フィレンツェバンド
- ヨガ

ご自分に合った活動に是非、足をお運びくださいませ。  
皆様のご参加、心よりお待ちしております。

## 神戸花鳥園 秋のバスツアー

10月31日・11月20日  
神戸花鳥園に出掛けて参りました。  
満開の花の下、鳥とのふれあいやショーを楽しみました。



## 11月14日 松花堂庭園を散策され、ゆかりの「松花堂弁当」をいただきました。 (京都吉兆)

石清水八幡宮にてお参りした後、サントリー山崎の蒸留所にてウイスキーの試飲を楽しみました。



## 松花堂庭園・ サントリー山崎 秋のバスツアー

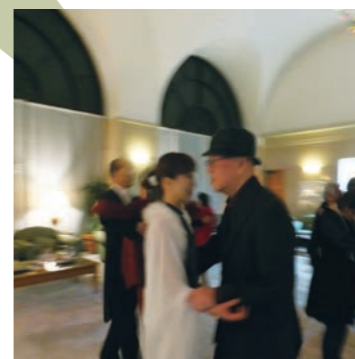
## クリスマス会

12月15日  
羽曳野市ウインドオーケストラによるクリスマスコンサートをはじめ、ご入居者様と一緒に催し（合唱や二人羽織）はとても盛り上がりました。踊りや抽選会、又「ぜんざいやケーキ」等スイーツコーナーも好評でした。



## クリスマスinナイト

12月21日  
1Fロビーが、カクテルラウンジへと模様替え。  
毎年恒例のパーティーを開催致しました。  
この日の為に職員も社交ダンスの練習を重ね、披露の場となりました。



# ファイレンツェライフ青山に おける医療体制と緊急時対応

高齢になり施設入居を考えると、有料老人ホームを探するときの大切なポイントのひとつが「医療サポート」。協力医療機関との連携が実際のように行われているのかを、施設長と看護師長に語って頂きました。

尾谷：平成五年にオープンいたしました当ホーム

ですが、今年で20周年を迎えさせて頂くこととなりました。現在の入居率は96%となっております。社会情勢をふまえても非常に安定した経営となっております。

本日は、20年間に築いたファイレンツェライフ青山の医療体制についてお話しさせて頂ければと思っております。まずファイレンツェライフ青山の看護部の体制を紹介頂けますか？

今井：現在ファイレンツェライフ青山の看護部門には、常勤3名、非常勤15名、機能訓練士1名の計19名がおります。日中は3〜4名、夜間は1名、つまり24時間体制で看護師が常駐していることとなります。朝に体調の悪い方があれば、青山病院の

ドクターに報告、急ぐ場合は検査・採血をし、その結果により薬の指示をもらいます。外来受診は、定期的に通院している場合は、必要に応じて一緒に病院に付き添い、ドクターへの質問を代弁したりして、医師との橋渡しをします。他にも血圧測定や医療処置全般、薬の管理なども行っています。

尾谷：皆様が当ホームを選ばれた理由のひとつには、看護師が24時間常駐しており、真横に病院があることなのですが、こういうホームは全国でもとても希少です。常時看護師がいない施設では、オンコールといって夜間緊急時には自宅待機の看護師が電話で夜勤の介護士に指示を出し必要があれば救急車にも乗って搬送に付き添うんですが、緊密な協力病院体制がないとどの病院にいくかわからない場合も出てきます。そうなる看護士だけでなくスタッフも夜間はハラハラして大変です。その点、ファイレンツェライフ青山では昼夜に関係なく受け入れる病院がある環境は、本当に安心してお住まい頂けると思っています。24時間看

尾谷施設長

&

今井看護師長



看護師が常駐しているからこそ、日々入居者様の体調を気遣えると思うのですが、例えば入居者様の血圧測定について改めて説明頂けますか？

今井：血圧は人によっても数値が違いますし、1日の中でも変動しているんですね。たとえば心筋梗塞や脳梗塞の場合、原因は一つではないですが血圧が高かったということが多いんです。他にも脱水傾向と高血圧が重なった時に色んな病気が起こってきますね。看護師は皆様の血圧を個別に測らせて頂き、血圧ノートの管理をし、ご自分のベスト血圧を知って頂く。必要であれば随時、ドクターに相談、指示を仰ぎ体調を整えさせて頂いております。

尾谷：専門目線でのチェックはやはり大切ですね。

今井：専門職が定期的に見守らせて頂くというのは大切な事だと思います。緊急事態にも的確な対応ができ、ドク

ターともスムーズにお話ができます。尾谷：日々お元気に過ごしていらつしやる方でも、緊急事態が無いとは言いやれないですね。

今井：ええ。入居時とてもお元気で、レストランや体力増強のマシンも使いやすく平穩に過ごしていらした方が、数年後のある日ちよつと顔色が優れないので色々様子を聞いてみると暮らしの状態に変化が生じていたんです。早速病院に検査に行つて頂くと、心不全と糖尿病が見つかったんです。約1か月の入院中インシュリンを使って治療、その後退院され居室での生活が不安な為、一時介護居室に1週間位いて頂き、自信がついたところでご自分のお部屋に戻って頂き



今井：転倒は多い場面です。

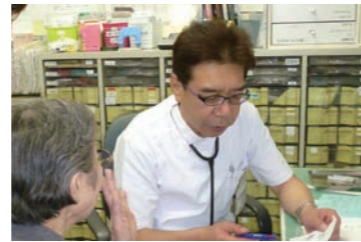
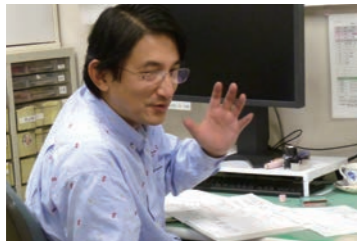
尾谷：臨機応変に対応できるのは入居者様にとって大変な安心につながりますが、対応するスタッフの判断力がとても重要だと思っております。そこが鍵だと思っておりますので、職員には、常日頃から、ご入居者様の生活のリズムを知りスピーディーに間違いのない判断をなさいと教育しています。緊急事態の例として「転倒され、ナーコールで呼ばれた時の対応の仕方」を紹介してもらえますでしょうか。



# 診療風景 各担当ドクターご紹介



「フィレンツェライフ青山」の御入居者様を  
見て下さっているドクターをご紹介します。



## 芝元 啓治

(しばもとクリニック院長 心療内科)

入居者様それぞれ合わせた話題で世間話をされながらリラックスした状態で正確に診療し、その方に合う薬を考え、て頂きます。

## 樋川 利恵

(青山病院内科)

治療には、しっかりと時間をかけおひとりおひとりの話をゆつくりと聞いて頂ける先生です。お話をされて入居者様と同じ目線になって診察したいという気持ちがひしひし感じられます。

## 牧野 泰博

(青山病院院長)

不安を持っている方に、まずは安心していただくことを考えて診察されています。治療もさることながらその方の生活を一番に考えて、厳しい食事制限などはなるべくしないように配慮頂ける先生です。

## 上田 貴史

(青山病院訪問歯科)

治療の時は、入居者様とお話ししながら優しく丁寧に接していただけるドクターです。

## 井上 統博

(青山病院訪問歯科)

「食は生きている間の楽しみ」とおっしゃり入居者様が日々美味しく食事を味わっていただくように心がけていただいています。

入居者様はホーム内で診療して頂け、病状によっては各居室のベッドまでドクターが診察に伺う訪問診療のシステムもありますので、負担も少なく安心です。私は、先生方との橋渡し役として入居者様方の言葉や希望を代弁しながら、スムーズに診察・内服薬・検査を受けて頂けるように心がけています。

## フィレンツェライフ青山における医療体制と緊急時対応

尾谷施設長 & 今井看護師長



まず転倒を介護士が見つけた場合すぐに看護師のピッチに連絡し、看護師がその場に駆けつけます。その時に、現場をそのままにしておくことがとても大事です。頭を打っている可能性もあるし、お尻を強打した様子など、状況を見極める為に動かさないようにと指導しています。看護師は到着後すぐに血圧と脈を測り、サーチレーション(酸素濃度)をみて全身の様子を観察、特変がないと判断したら起きて頂き分かる範囲で状態を聞きます。何かを取ろうとしたら滑ったとか後ろにひっくり返ったとか、状況を聞いてこれは脳外科の方がいいな、これは整形外科に行くべきだなという判断をします。

尾谷：看護師判断の対応は、介護士やその他スタッフにとっても安心感の一つになりますね。色々なケースがあるかと思いますが、協力医療機関である青山病院との連携を考えながらこれからの適切な対応をお願いしますね。

今井：ええ。隣が協力医療機関というのは私達にも嬉しく頼もしい環境の一つです。

尾谷：どういったところが嬉しい環境でしょうか。

今井：そうですね、嬉しいというよりも、安心して働ける、というのが正直な気持ちでしょうか。日常の医療体制としては青山病院の牧野ドクターと樋川ドクターの、施設内での定期受診が月2回あります。これは病院での待ち時間が無い皆様にとってご負担がない便利なシステムです。もちろん病院での受診もご自由ですので、ご希望がある場合は予約を入れておき順番が来たら病院に行つて頂くなど、出来るだけ待ち時間がないよう工夫しております。夜間でも具合が悪くなられた時には、診察が可能です。

尾谷：入居者様の健康管理に対して、看護師は常にご本人の負担が無いように配慮しているんですね。このようなシステムは職員にとってどうですか？

今井：そうですね。同業の友人から「救急搬送の時、診てくれる病院を探すのに苦労した」という話を聞くと、入居者様が困っていることや不安に思っていることを日々ドクターに伝えられる私は、ここで安心して仕事ができることを本当にありがたいと思うんです。ですから皆さん遠慮なさらずに、何でもお話ししてくださいね。入居者様のご体調に24時間対応してくれる病院があり、信頼できるドクターにすぐに相談できる環境は、自慢できる医療体制だと思います。

尾谷：看護師だけでなく、介護士・その他スタッフも感謝や気付きの気持ちを忘れず、せっかくの医療体制をより効果的に反映できる環境作りに努めていかないとはいけませんね。

今井：ええ、これからは全職員が恵まれた環境に感謝し皆様にお応えさせて頂く所存です。

# 心も体もぽかぽかに

機能訓練士  
中村 匡志

御入居の皆様、いつもお世話になっております。機能訓練士の中村でございます。私もフィレンツェライフ青山に入社して、一年半の時間が経ちました。皆様との毎日の体操やリハビリの時間の中で、楽しいお話や貴重な経験を聞かせて頂きながら、本当に有意義な時間を頂戴しております。



「機能訓練」「リハビリ」といいますが、少し固く聞こえてしまいますが、病院のリハビリとの違いは、お風呂やトイレに行く事、お箸で食べる事、話をする事など生活の全てが明日への「リハビリ」になるのではないかと考えております。

安な様子で受けておられました。リハビリの数を重ねるたびにたくさんお話をし、下さる様になり、「こんな気持ちのいいことを知らなかった」「先生に会えてよかった」とまで仰ってくださったときは、この仕事をし、遠足にも同行させていただいております。半年に一度の楽しいイベントを目標に頑張っておられる方もございます。そんな



お姿を見ていると、自分も出来る限りのことをお手伝いしたいと思っております。「生活そのものが健康チェックの場に…」と理念にもありますように、職員一丸となって毎日を真摯に過ごされている御入居者様のお役に立てるよう努めていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## スタッフコラム フィレンツェで働く人々

## 営繕作業

H21年11月～（本年増台計21台設置）

・全館にアイソルパウオーター設置  
（除菌・消臭対策）

H22年～H25年（4年計画）

・電気温水器  
全居室入れ替え工事終了

H23年10月～

・3F談話室 新設

H24年3月

・大浴・小浴場入口  
スライドドア新設工事

・娯楽室内のマッサージ機取替

H24年3月

・玄関先レンガ 改修工事

H24年6月

・外出用位置確認器2台運用  
（GPS）

・AED（自動体外式除細動器）の設置



娯楽室 マッサージ機



3F 談話室



ディソルパウオーター

H25年3月

・入口外壁の石復旧工事

・居室用ドアクローザー交換

（ドア開閉をスムーズ及び安全にするため）

H25年4月

・門扉前減速板色塗り工事

・「通り抜け禁止」看板設置

・外壁の一部補修工事

・2F談話室ロールスクリーン交換

H25年6月

・樹木伐採作業

H25年7月

・地下駐車場車止め改修工事

H25年9月

・娯楽室天井雨漏り防水工事

・屋上鍵設置

H25年10月

・介護棟4人部屋壁紙、床張替工事



介護棟4人部屋

## 編集後記

十年一昔といいますが、フィレンツェライフ青山では二昔が過ぎてまいりました。

開設時より入居者様の安心・安全は当然のこと、喜び・幸せも感じていただくことを目指して参りました。

20年の歩みは入居者様の中にあると思ひ、お話を伺い取材させていただきましたが、皆様の信頼と愛情深い眼差しの中で、私達の拙い歩みを広い心で包み見守っていただいていたことを、今正に実感しております。

入居者様やご家族様に心からの感謝の気持ちを込めて、本誌におきましても皆様は何をお伝えして行くべきなのかを吟味して、今回は私共が誇る青山病院との『医療連携』を皆様にご確認いただき安心されますよう記載いたしました。

フィレンツェが、いつまでも皆様の「信頼と癒しの場所」となれますようにという想いを込めて……。

最後に「フィレンツェライフ青山設立20周年特集号」の発行にあたり、取材・掲載・編集にご支援ご協力をいただきました皆様様に厚く御礼申し上げます。編集後記とさせていただきます。

フィレンツェライフ青山  
百合通信編集担当